

大会宣言

全日本ろうあ連盟は、長年差別や偏見と闘い、社会への「完全参加と平等」を求めて、たゆまぬ運動を積み重ねてきました。本年度で創立65周年を迎え、京都にて60回目の全国ろうあ者大会を開催することができました。

ここ京都が第1回全国ろうあ者大会を開催した地です。「自立の精神」や「人間として生きる権利」を求める運動はこの地から始まりました。連盟は先人から基本的理念をしっかりと受け継ぎ、これまでに運転免許の取得をはじめ、多くの権利を獲得してきました。

いま、障害者を取り巻く環境は大きく変わろうとしています。

昨年の中日本大震災では、多くの尊い命が奪われ、家や職を失い、今なお多くの人が生活に苦しんでいます。私たちは、被災した聴覚障害者の生活再建をめざして「東日本大震災聴覚障害者救援中央本部」を立ち上げ、被災者への救援活動に奔走してきました。

また、当連盟をはじめとする聴覚障害関係6団体の「We Love コミュニケーション」運動は、一年という短期間で116万筆余の署名を集め、内閣府と衆参両議院に提出することができました。その盛りあがりの中、障害者基本法に言語として手話が盛り込まれ、「情報・コミュニケーション法」と「手話言語法」の実現への道筋が見えるようになりました。

わが国が障害者権利条約の批准をするためには、私たち障害者が主体となって障害者差別禁止法をはじめ、国内法の整備を進めなければなりません。とりわけ、ろう者が負担することなく、いつでもどこでも安心して手話通訳が利用でき、手話によるコミュニケーションが自由にできるようにする法整備は、ろう者の基本的人権の保障と社会への「完全参加と平等」の実現の基盤となるものです。私たちが必要とする法制度の整備に向けて、これからも積極的に国民と国に訴えていかなければなりません。

全国の仲間たちが力を合わせて一つになり、全国民と連帯した運動をさらに続けていくことをここに宣言します。

2012年6月10日

第60回全国ろうあ者大会